

10 レストラン

住宅

>>>

店舗



「その地域のもの」を大切に
活かすリノベーション

リノベーション内容

Before



After



柱を磨きなおし、塗装を行った。傷みのひどかった壁の一角は、一度壊してから新しく窓をとりつけた。

Before



After

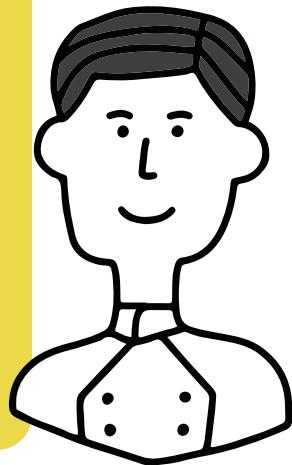


建物の耐震性を考慮し、シロアリ被害のあった柱の補強、横搖れに対する補強を行った。また、もともと畳敷きだった箇所をコンクリート張りにした。

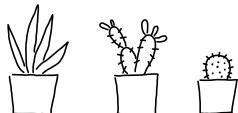
リノベーション ストーリー

renovation story

私は料理を生業としており、その地域で育ったものを使うことでその地域の独自性が生まれると考えています。住宅も同じで、その地域にもともとある物件には、その地域で作られたものを取り入れた実績があり独自性があると考えています。それを活かすという点で古民家での開業を考え、空き家バンクを通じて物件探しを開始し、武家屋敷の建物と庭を含むその土地との雰囲気がよかつたのが決め手で、この建物に決めました。リノベーションは、「もともとの物を壊さない」ということを意識して自分で行いました。古民家の改修は最後までどうなるか分からず、とりあえず目の前のことを直していくような感じでした。大変なことも多かったですが、改修していく中で、昔の人は何を思って作ったのか考えながらする作業はまるで昔の人と一緒に仕事をしているかのようで面白かったです。



利活用までの スケジュール



schedule

2019	リノベーションする物件が決定
2019	工務店などに相談
2020.5	自分で改修することを決めて着工
2021.3	リノベーション完了
2021.3	オープン

こだわりポイント



色々な場所から集められたものを再利用した店内装飾

解体された別の建物で使用されていた床柱(とこばしら)を装飾として再利用しています。また、もともと置いた座敷はフローリングに張り替えました。床板には、古民家の雰囲気に合うようにキャンプ場のウッドデッキを再利用しています。装飾として割った皿や、近所の方から譲り受けた陶器など様々なものを使っています。